

こらっせ便り

2017年9月8日



【編集・発行】「福島子ども・こらっせ神奈川」

TEL : 045-353-9008

Eメール : info@korasse-kanagawa.org

「神奈川リフレッシュプログラム」学生スタッフ感想特集号

若い力が支えるリフレッシュプログラム

福島子ども・こらっせ神奈川代表 山際正道

8月7日から9日まで山北町と横浜市で行った「神奈川リフレッシュプログラム」はおかげさまで福島県・檜葉町を中心に中学生が6名、小学4年生6名、5年生8名と6年生7名、1年生とその母親で総計29名が参加、成功裏に終了することができました。台風5号の影響で初日は室内に限定され二日目も毎年恒例の「川遊び」が中止になったのは残念でしたが、山北・三保小学校の生徒さんと交流もあり楽しく過ごすことができました。

今回はこれまで以上に学生スタッフの活躍が目立ちました。プログラムの企画立案の段階から係わり、当日の運営も多くが学生によるものでした。また、檜葉町での学童支援も「リフレッシュプログラム」後から始まりました。さらに学生スタッフとして関わり、卒業してからも事務局で活動している人もいます。こうした若い力はうれしい限りです。

ということで今号の「こらっせ便り」は、「リフレッシュプログラム」に参加した学生スタッフの感想特集です。「神奈川リフレッシュプログラム」の報告書も作成いたしましたので、あわせてお読みいただければと思います。

2017年度 神奈川リフレッシュプログラム

日時		場所	プログラム
8月7日(月)	午前	バス檜葉町、いわき出発 山北町丹沢荘到着 丹沢荘泊	集合 オリエンテーション・ゲーム ウエルカムパーティ カラオケ大会
	午後 夜		
8月8日(火)	午前 昼	丹沢荘	朝食 三保小学校子どもたちと合流、昼食 三保小体育館で遊び+スイカ割り
	午後 夜	丹沢湖ロッジへ移動 丹沢湖ロッジ泊	プナの湯で入浴 バーベキュー キャンプファイヤー、花火
8月9日(水)	午前 昼	丹沢湖ロッジ出発 みなとみらい周辺	朝食、横浜みなとみらいへ移動 グループ毎に昼食・散策・遊び・ショッピング
	午後 夜	バス赤レンガ前出発 バスいわき・檜葉に到着	

午後、山北町丹沢荘に到着、オリエンテーションの後、ゲーム、ウェルカムパーティ、カラオケ大会（丹沢荘泊）

1日目(8月7日)

懐かしさと新鮮さ

子どもたちが丹沢荘に到着し、今年度のリフレッシュ・プログラムがスタートしました。最初のオリエンテーションでは、長時間のバス移動にもかかわらず、子どもたちは元気な様子で、熱心に話を聞いてくれました。もう顔なじみになっている子どもの成長ぶりには、毎年、驚かされます。また、今回初めて参加してくれる子どもや学生スタッフも多く、懐かしさと新鮮さが入り混じって、今年のプログラムが始まりました。（清水 雅大）



私は1日目のしかも子どもたちとわずか2時間ほど関わってプログラムを離れることになっていたのですが、とにかく子どもたちが3日間全力で楽しめるようにアイスブレイクをして緊張をほぐすことが目標でした。自分の拙いレクで子どもたちが緊張をほぐせたのかは分かりません。しかし、ゲームの中で楽しそうな笑顔をたくさん見ることができて、よかったです。たった2時間でしたが、去年からの成長を見せてくれた子どもや、再会を喜んでくれた子どもと楽しく遊べたことがとても嬉しかったです。（杉野 迅）

ウェルカムパーティでは、自分がこの3日間で楽しみにしていることを添えながら、一人一人が自己紹介をしました。全員の方を見ながら、しっかりと話している姿が印象的でした。そして待ちに待ったお食事の時間。丹沢荘の方が作ってくださるお料理はとてもおいしく、子どもも大人も幸せそうな顔をしていました。また、悪天候の中来てくださった湯川裕司山北町長から、山北町の紹介と歓迎の言葉も頂きました。少しずつ緊張がほぐれていくような、温かい雰囲気のパティーになりました。（松田 優希）

私は1日目のしかも子どもたちとわずか2時間ほど関わってプログラムを離れることになっていたのですが、とにかく子どもたちが3日間全力で楽しめるようにアイスブレイクをして緊張をほぐすことが目標でした。自分の拙いレクで子どもたちが緊張をほぐせたのかは分かりません。しかし、ゲームの中で楽しそうな笑顔をたくさん見ることができて、よかったです。たった2時間でしたが、去年からの成長を見せてくれた子どもや、再会を喜んでくれた子どもと楽しく遊べたことがとても嬉しかったです。（杉野 迅）



盛り上がったカラオケ大会

去年も大いに盛り上がった花火大会でしたが、豪雨で中止となってしまいました。しかし丹沢荘のご協力もあり食堂でカラオケ大会が開かれました。学生が歌う曲を子どもたちが知らなかったり、その逆の現象が起こったりと年代の違いを痛感しました。知らない子も含め大勢の前ということで子どもたちが恥ずかしがってしまうことも予想されましたが、積極的にマイクを取り合い、元気に皆で歌うことができました。(梅澤 賢之)

すぐに打ち解けて

残念ながら台風の影響もあり、子どもたちが楽しみにしていた花火大会が延期となってしまいましたが、室内のレクリエーションもみんな楽しんでくれたので良かったです。特にカラオケ大会は次に誰が歌うのかマイクの取り合いになるほど盛り上がりました。丹沢荘に着いてすぐの子どもたちは少し緊張しているように見えてましたが、時間が経ち徐々にグループの人や学生たちとも打ち解けてきて楽しんでいました。(藁科 早百合)

**三保小学校子どもたちと合流後、昼食。三保小学校体育館でお遊び後に
フナノ湯で入浴。丹沢湖ロッヂに移動。バーベキュー、
キャンプファイヤー、花火大会(丹沢湖ロッヂ泊)**

2日目(8月8日)

プログラム2日目は天候が悪く、川遊びはできませんでしたが、子どもたちは宿泊施設や小学校の体育館でも楽しく遊ぶことが出来ました。三保小学校の児童とも1日一緒に過ごす中で少しずつ仲良くなり、新しい友達ができたと喜ぶ子どもたちの姿が見られ、私も嬉しかったです。来年の天候は分かりませんが、雨プランのレクリエーション等を事前にじゅうぶん詰められていなかったという反省を次回へ生かし、より子供たちが楽しめる活動にしたいと思います。(坪井 香澄)

4年間プログラムに参加し感動

自分自身、4年目だった学生最後のリフレッシュ・プログラムでは、2日目の午前中のレクを担当しました。その中で一番盛り上がったのが「木とリス」というレク。子どもたちの要望を受け、やり方をアレンジしたこともあり、みんな大盛り上がりでした。班を越えた交流がたくさん見られて嬉しかったです。最後に、支援してくださっている皆様のおかげで、4年間楽しくプログラムに参加させていただきました。本当にありがとうございました。(岩成 銀河)

子ども達は前日から雨の影響で身体を思うように動かせていなかったもので、体育館遊びを待ち望んでいました。そのため全体で行ったゲームも自由な時間での個々の遊びも、思う存分身体を動かせていたと思います。しかしながら、雨プランであった体育館遊びの内容を自分自身詰められていなかったことが反省としてあります。来年は説明や時間配分等を事前に

しっかり考えていきたいと思います。今年度以上に子どもの笑顔が見られるよう頑張ります。
(内海 克也)

じゃんけん列車、人間知恵の輪



前日の大雨の影響で残念ながら川遊びは中止となり、体育館でレクを行うことになりました。レクの内容は、じゃんけん列車、人間知恵の輪を行い、最後の20分間は自由な時間を設けました。自由な時間の中ではドッチボールや風船バレーなどを楽しそうに行っていました。しかし、レクを退屈だと感じている子どももみられ、もう少し綿密に計画すればよかったと感じました。(加藤 柚菜)

2日目の午後に行われたスイカ割りは、雨の影響で例年とは異なり、体育館で行いました。子ども達全員にスイカ割りをやらせてあげたいと思っていましたが、実際には予想よりも早く割れてしまい、全員ができませんでした。しかし、スイカ割りでは三保小の子も福島の子も関係なくみんなで声を掛けて協力している姿を見ることができ、割った後もみんなで二列になって、スイカを食べている姿はとても微笑ましい光景でした。子ども達に楽しんでもらいたいと思い、このプログラムに参加しましたが、子どもと一緒に私もとても楽しく過ごすことができました。今回の経験を今後の活動にも生かしていきたいと思います。(古屋 結麻)

バーベキューは台風の影響が予想されていましたが、天気が良くなったので安心して行うことができました。楽しみにしていた子どもも多くいたので、予定通り行えてよかったです。私が担当していた班では子どもが肉も野菜もたくさん食べてくれたので、焼いている側として嬉しかったです。福島っ子と山北っ子が仲良く会話しているシーンも多く見られたため、子ども達にとって有意義な時間だったと思います。(高田 隼矢)

苦手な野菜も食べた

その日のアクティビティの後でお腹ぺこぺこの子どもたちが、何か出されたものを食べるのではなく、自分で焼いて食べるということに不自由な中でも楽しさを見出しているように感じられました。普段は苦手だと言っていた野菜類も、友達同士や学生など、焼いてくれた人の顔が見えることで、ひとつだけでも食べてみようかとトライしてくれる姿が印象的でした。一緒に作業することで班の仲も深まったバーベキューになりました。(木土 百華子)

福島っ子、山北っ子、一緒に歌ったキャンプファイヤー

天気が優れない中、曇ってはいたものの雨がほとんど降る事もなくキャンプファイヤーを行うことができました。そんなキャンプファイヤーでは、福島っ子と山北っ子が一緒になって盛り上がっていました。山北っ子の虹の合唱では、歌を知っている子どもも一緒に歌っていた光景がとても印象的でした。キャンプファイヤー後にも、多くの子どもから「楽しかったよ」という声が出ていました。(菅田 薫)



今回キャンプファイヤーで目立つ役をしたことは、私の初めての経験となりました。苦手な分野でしたが、終わってからそれまで関わっていない他の班の子どもも声をかけに来てくれて、今までの自分にはない新しい子どもとの関わり方ができたように思います。また、班ごとに福島っ子と山北の子の関わり方に違いを感じました。班付きの学生の動き次第で変化が生まれると思います。自分と子どもの関係だけでなく、子ども同士の関わり方の潤滑剤のような存在になれたらいいなと思いました。(熊谷 健太)

今年度のリフレッシュ・プログラムは天候に恵まれず、1日目に予定していた花火を2日目のキャンプファイヤー後に行うことになりました。1日目に「花火をできない」と伝えた時はとてもがっかりする子どもたちが多かったので、2日目に無事に出来たことはとても嬉しそうでした。高学年の子ども達は友達と一緒に花火を楽しみ、低学年の子どもはひとつひとつの花火をじっくりと楽しんでいました。室内レクリエーションで仲良くなった山北っ子の笑顔も見られてよかったです。(濱本 もも)

朝食後、バスで丹沢湖口ッ子を出発、横浜みなとみらい到着後、グループごとに散策、終了後にバスでいわき・楢葉へ。夜到着。

3日目(8月9日)

一瞬一瞬が尊い時間

昨晚、山北っ子と夕食を一緒に食べたこともあり、寂しがる子どもがとても多かったのが印象的でした。たった1日でも子どもたちの間には確かに絆が生まれていたのだと思います。一緒に過ごす時間の長さを私たちは気にしてしまいがちですが、子どもたちにとって、時間はあまり関係なく遊んでいた瞬間のひとつひとつが思い出になることを学び、こらっせとして活動している一瞬一瞬が、とても尊い時間であることを感じました。(楠見 奈都子)

横浜散策では子ども達の好奇心旺盛な姿を見ることができました。三菱みなとみらい技術館では最先端の技術に興味津々で、たくさん走り回っている姿が見られました。また、中学生の子は理科に興味を持ったと言っており、感心しました。ランドマークタワーでは横浜を一望するという、子どもにとって素敵な経験になったと思います。望遠鏡ではしゃぐ子どもたちが可愛かったです。コスモワールドでは、子どもらしくたくさんはしゃいでいました。小学生も中学生も楽しんでいてよかったです。(柴田 一樹)

去年以上にやりがい感じた

横浜散策は、私が担当した子どもたちが一番楽しみにしていたイベントでした。バスの中



では特にコスモワールドのパンフレットに興味津々見ていました。横浜に向かう途中のバスが大渋滞に巻き込まれ、予定時刻より 1 時間ほど遅いスタートでしたが、子どもたちはとても元気に散策をしていました。子どもたちそれぞれの希望をまとめることは少し大変でしたが、それでも楽しそうに過ごしていて、私自身充実した時間を過ごすことができ、去年以上のやりがいを感じました。(鈴木 香瑠)

横浜散策は、バスの渋滞により約 1 時間少なくなりました。それでも、各班思い思いに散策を楽しめたように思います。私の班では、三菱みなとみらい技術館を回った後に、ランドマークタワーに昇りました。一望できる横浜の景色に子ども達はとても感動していました。それからコスモワールドに向いました。楽しみにしていたジェットコースターにも乗れて、満足していました。人が多く炎天下の中での散策でしたが、子どもたちの「楽しかった」という声が聞けて、私も嬉しかったです。(澤野 富貴)

ハイタッチでお別れ

3 日目は子どもたちがなによりも楽しみにしていた横浜散策でした。台風後の猛暑でしたが、最後の集合場所の赤レンガに子どもも学生も汗だくでキラキラした笑顔を浮かべながら戻って来ました。3 日目になると班の仲も深まり、みんなで地図を片手にルートを計画しながら楽しんでいる姿が見られました。お別れのときには子ども達が学生・スタッフと順にハイタッチをしてから「また来るね!」とバスに乗り込みました。子ども達はバスの中から手を振り続け、学生とスタッフも手を振り返し見送りました。1 日目のバスとは違い、少し頼もしく成長した子ども達の姿を見ることができて良かったです。(梅津 彩)

